

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 2 月 17 日(2025.2.17)

【国際公開番号】WO2024/089902
【出願番号】特願 2024-552811(P2024-552811)
【国際特許分類】
A 44 B 19/38(2006.01)
【FI】
A 44 B 19/38

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 12 月 4 日(2024.12.4)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

一対の第 1 及び第 2 ファスナーストリンガー(30A、30B)と、
前記第 1 及び第 2 ファスナーストリンガー(30A、30B)間を開閉するための少なくとも一つのスライダー(40)と、
前記第 1 及び第 2 ファスナーストリンガー(30A、30B)の長手方向の下端部に設けられる開離嵌挿具(1)と、
を備えるスライドファスナー(100)であって、

前記開離嵌挿具(1)は、
前記第 1 ファスナーストリンガー(30A)に設けられる第 1 開離嵌挿部(10)と、
前記第 2 ファスナーストリンガー(30B)に設けられ、前記第 1 開離嵌挿部(10)と連結及び連結解除可能な第 2 開離嵌挿部(20)と、

30

を備え、

前記第 1 開離嵌挿部(10)は、前記第 1 ファスナーストリンガー(30A)の幅方向内側縁部側に設けられる蝶棒(11)を含み、

前記第 2 開離嵌挿部(20)は、前記第 2 ファスナーストリンガー(30B)の幅方向内側縁部側に設けられる箱(21)を含み、

前記箱(21)は、上方に開口し、前記蝶棒(11)を前記長手方向に挿抜可能な蝶棒穴(25)を有し、

前記蝶棒(11)の表面(11b)及び裏面(11c)の少なくとも一方には、凹部(16, 17)が設けられ、

前記箱(21)の前記蝶棒穴(25)を構成する内面(25a, 25b, 25c, 25d)のうち、前記蝶棒(11)の前記表面(11b)及び前記裏面(11c)と対向する表側面(25a)及び裏側面(25b)の少なくとも一方には、前記凹部(16, 17)と係合可能な凸部(26, 27)が設けられ、

40

前記蝶棒(11)の挿抜方向における前記凸部(26, 27)の中央部を通り前記挿抜方向に対して垂直な平面(P)に対し、前記凸部(26, 27)は非対称な形状であり、

前記凸部(26, 27)は、前記蝶棒(11)の挿抜方向における前記凸部(26, 27)の上端部から下方に向かうにしたがって前記凸部(26, 27)の厚さを大きくする上側傾斜面(26a, 27a)と、前記蝶棒(11)の挿抜方向における前記凸部(26, 27)の下端部から上方に向かうにしたがって前記凸部(26, 27)の厚さを大きくする下側傾斜面(26b, 27b)と、を含み、

50

前記上側傾斜面（２６ａ，２７ａ）の傾きは、前記下側傾斜面（２６ｂ，２７ｂ）の傾きよりも大きい、
スライドファスナー。

【請求項２】

前記蝶棒（１１）を前記蝶棒穴（２５）に挿入するために要する力（Ｆｉｎ）は、前記蝶棒（１１）を前記蝶棒穴（２５）から抜くために要する力（Ｆｏｕｔ）よりも大きい、
請求項１に記載のスライドファスナー。

【請求項３】

前記蝶棒（１１）を前記蝶棒穴（２５）に挿入するのに要する力は４～６Ｎである、
請求項１又は２に記載のスライドファスナー。

10

【請求項４】

前記凹部（１６，１７）は、前記蝶棒（１１）の前記表面（１１ｂ）及び前記裏面（１１ｃ）にそれぞれ設けられ、

前記凸部（２６，２７）は、前記箱（２１）の前記蝶棒穴（２５）の前記表側面（２５ａ）及び前記裏側面（２５ｂ）にそれぞれ設けられる、

請求項１又は２に記載のスライドファスナー。

【請求項５】

前記凸部（２６，２７）は、前記上側傾斜面（２６ａ，２７ａ）と前記下側傾斜面（２６ｂ，２７ｂ）とを接続し、前記挿抜方向及び前記幅方向に平行な平行面（２６ｃ，２７ｃ）を含む、

20

請求項１又は２に記載のスライドファスナー。

【請求項６】

前記凹部（１６，１７）は、前記蝶棒（１１）を前記幅方向に貫通する、

請求項１又は２に記載のスライドファスナー。

【請求項７】

前記凹部（１６，１７）の前記幅方向の長さ（Ｍ１）は、前記凸部（２６，２７）の前記幅方向の長さ（Ｍ２）よりも大きい、

請求項１又は２に記載のスライドファスナー。

【請求項８】

前記凹部（１６，１７）と前記凸部（２６，２７）とが係合した際に、前記凹部（１６，１７）と前記凸部（２６，２７）との前記幅方向の隙間は、前記凹部（１６，１７）と前記凸部（２６，２７）との前記挿抜方向の隙間よりも大きい、

30

請求項１又は２に記載のスライドファスナー。

【請求項９】

一对の第１及び第２ファスナーストリンガー（３０Ａ、３０Ｂ）と、

前記第１及び第２ファスナーストリンガー（３０Ａ、３０Ｂ）間を開閉するための少なくとも一つのスライダー（４０）と、

前記第１及び第２ファスナーストリンガー（３０Ａ、３０Ｂ）の長手方向の下端部に設けられる開離嵌挿具（１）と、

を備えるスライドファスナー（１００）であって、

40

前記開離嵌挿具（１）は、

前記第１ファスナーストリンガー（３０Ａ）に設けられる第１開離嵌挿部（１０）と、

前記第２ファスナーストリンガー（３０Ｂ）に設けられ、前記第１開離嵌挿部（１０）と連結及び連結解除可能な第２開離嵌挿部（２０）と、

を備え、

前記第１開離嵌挿部（１０）は、前記第１ファスナーストリンガー（３０Ａ）の幅方向内側縁部側に設けられる蝶棒（１１）を含み、

前記第２開離嵌挿部（２）は、前記第２ファスナーストリンガー（３０Ｂ）の幅方向内側縁部側に設けられる箱（２１）を含み、

前記箱（２１）は、上方に開口し、前記蝶棒（１１）を前記長手方向に挿抜可能な蝶棒

50

穴（２５）を有し、

前記蝶棒（１１）の表面（１１ｂ）及び裏面（１１ｃ）の少なくとも一方には、凹部（１６，１７）が設けられ、

前記箱（２１）の前記蝶棒穴（２５）を構成する内面（２５ａ，２５ｂ，２５ｃ，２５ｄ）のうち、前記蝶棒（１１）の前記表面（１１ｂ）及び前記裏面（１１ｃ）と対向する表側面（２５ａ）及び裏側面（２５ｂ）の少なくとも一方には、前記凹部（１６，１７）と係合可能な凸部（２６，２７）が設けられ、

前記蝶棒を前記箱の前記蝶棒穴（２５）に挿入するのに要する力（Ｆｉｎ）は、前記蝶棒を前記箱の前記蝶棒穴（２５）から抜くのに要する力（Ｆｏｕｔ）よりも大きい、
スライドファスナー。

10

【請求項１０】

スライドファスナー用開離嵌挿具（１）の箱（２１）の製造方法であって、

前記箱（２１）には、蝶棒（１１）を挿抜可能な蝶棒穴（２５）の内面（２５ａ，２５ｂ）に凸部（２６，２７）が設けられ、

前記箱（２１）は、固定金型（５）と、前記固定金型（５）に対して表裏方向に往復動可能に設けられる可動金型（６）と、前記固定金型（５）に対して上下方向に往復動可能に設けられる第１及び第２スライド（７，８）と、を用いて射出成型されることで得られ、

前記第１スライド（７）に凹設された第１凹部（２６ｘ）と、前記第２スライド（８）に凹設された第２凹部（２６ｙ）と、が突き合わされることにより、前記凸部（２６，２７）を形作るための凸部形成部（２６ｚ）が形成される、
スライドファスナー用開離嵌挿具の箱の製造方法。

20

30

40

50